



福祉施設における 農福連携の取り組み

一般社団法人はーとプロジェクト
代表理事 大森秀樹

一般社団法人はーとプロジェクト 沿革

- 平成27年 7月 合資会社森の家より地域貢献活動を目的とした一般社団法人はーとプロジェクト設立
- 平成28年 1月 地域貢献活動として障がい児、障がい者のフットサル教室を開始
- 平成28年 5月 就労継続支援B型開設（農福連携による農業開始）
- 平成30年 5月 赤童子店で児童発達支援センター、相談支援を開始、高屋店で放課後等デイサービス開始
- 平成30年 6月 岩倉店で放課後等デイサービス、訪問介護を開始
- 平成30年 8月 東野店で放課後デイサービス、高屋店の生活介護、岩倉店で相談支援、赤童子店で居宅介護支援をそれぞれ開始
- 令和 1年9月 赤童子店で保育所等訪問支援を開設
- 令和 1年11月 地域貢献活動として子ども食堂を開始
- 令和 2年4月 赤童子店で江南市より地域児童発達サポートの委託業務開始
- 令和 2年4月 野白店でグループホームを開設

現在、2市5拠点で16事業所を運営しています。



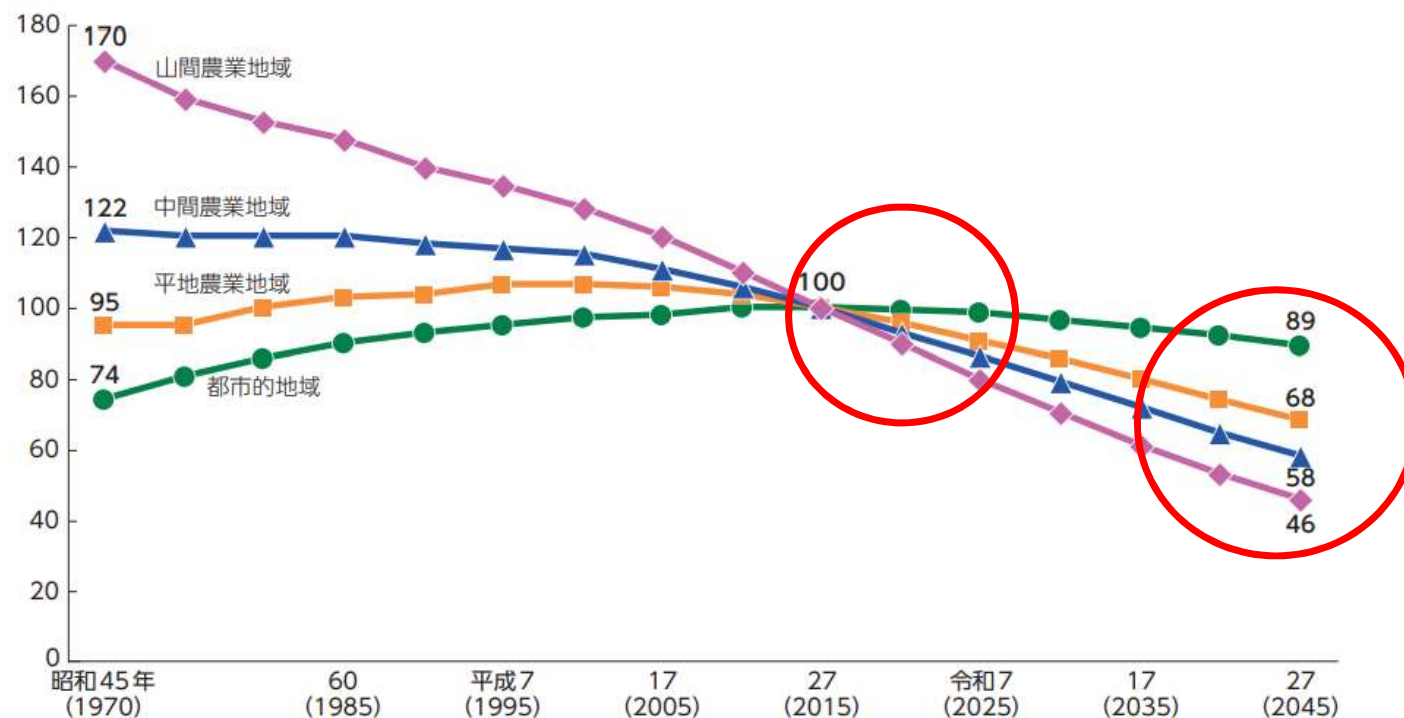
農福連携とは

農福連携（農業と福祉の連携）は、障害者が農業分野での活躍を通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。

農福連携の取組は、障害者の就労や生きがい等の場の創出となるだけでなく、農業就業人口の減少や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるもの。

今後、令和27（2045）年までに、都市的地域や平地農業地域を含む全ての類型区分で人口が減少し、我が国全体として大幅な人口減少が見込まれています。

図表 3-1-2 農業地域類型区分別の人口推移と将来予測（平成27（2015）年を100とする指数）



資料：農林水産政策研究所「農村地域人口と農業集落の将来予測－西暦2045年における農村構造－」

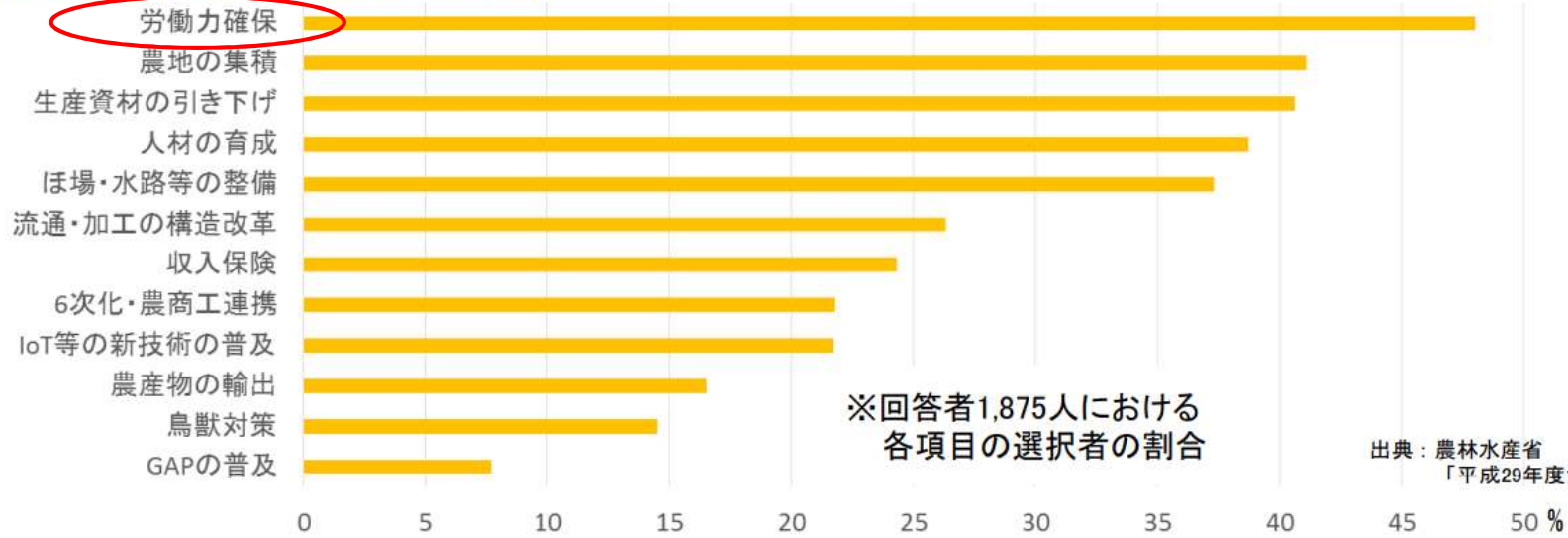
注：1) 国勢調査の組替集計による。なお、令和2（2020）年以降はコーホート分析による推計値である。

2) 農業地域類型区分は平成12（2000）年時点の市町村を基準とし、平成19（2007）年4月改定のコードを用いて集計した。

農業就業人数の推移と平均年齢



若手農業者の関心の高い農業施策



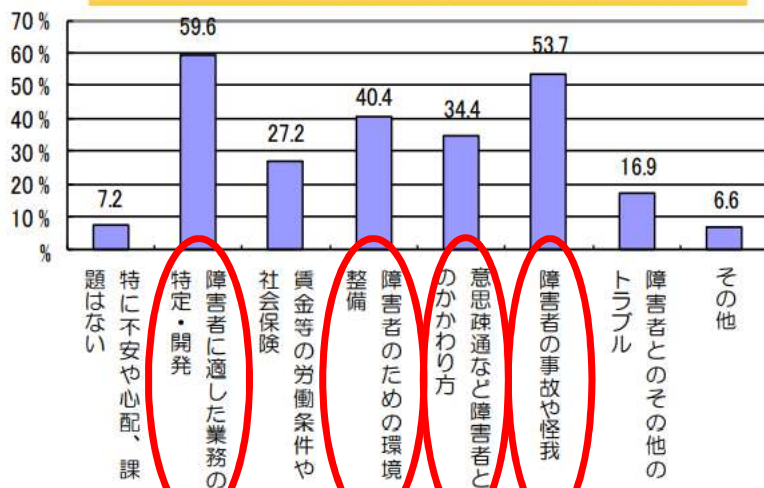
新規就農者の農業経営面での課題の変化

| | 2013年 | 2016年(増減) |
|-----------|-------|---------------|
| 所得が少ない | 59.6% | 55.9% (▲3.7%) |
| 技術の習得 | 47.6% | 45.6% (▲2.0%) |
| 施設整備資金の不足 | 34.5% | 32.8% (▲1.7%) |
| 労働力不足 | 22.9% | 29.6% (+8.7%) |
| 運転資金の不足 | 26.7% | 24.3% (▲2.4%) |

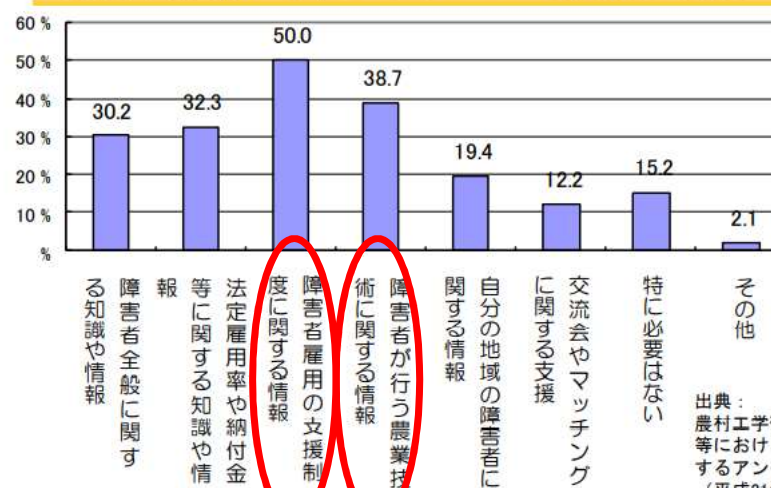
出典：全国農業会議所「新規就農者の実態に関する調査結果」(平成28年)

障害者雇用の課題

障害者を雇用する際の不安や心配



障害者雇用に関して望んでいる情報や支援



出典：
農村工学研究所「農業法人等における障害者雇用に関するアンケート」
(平成21年) ※左表とも

「農」と福祉の連携(=農福連携)

【農業・農村の課題】

- ・農業労働力の確保
※毎年、新規就農者の2倍の農業従事者が減少
- ・荒廃農地の解消 等
※佐賀県と同程度の面積が荒廃農地となっている

【福祉(障害者等)の課題】

- ・障害者等の就労先の確保
※障害者約964万人のうち雇用施策対象となるのは約377万人、うち雇用(就労)しているのは約94万人
- ・工賃の引き上げ 等

障害者等が持てる能力を発揮し、それぞれの特性を活かした農業生産活動に参画

【農業・農村のメリット】

- ・農業労働力の確保
- ・農地の維持・拡大
- ・荒廃農地の防止
- ・地域コミュニティの維持 等

【福祉(障害者等)のメリット】

- ・障害者等の雇用の場の確保
- ・賃金(工賃)向上
- ・生きがい、リハビリ
- ・一般就労のための訓練 等



目指す方向

1 農業生産における障害者等の活躍の場の拡大

障害者等の雇用・就労の場の拡大を通じた農業生産の拡大。



2 農産物等の付加価値の向上

障害の特性に応じた分業体制や、丁寧な作業等の特長を活かした良質な農産物の生産とブランド化の推進。



3 農業を通じた障害者の自立支援

障害者の農業への取組による社会参加意識の向上と工賃(賃金)の上昇を通じた障害者の自立



障害者の生活支援

障害者の生活の基礎的部分を
満たすために必要な生活支援。

生活支援とは、単に生きるための
衣・食・住を支えるだけでなく

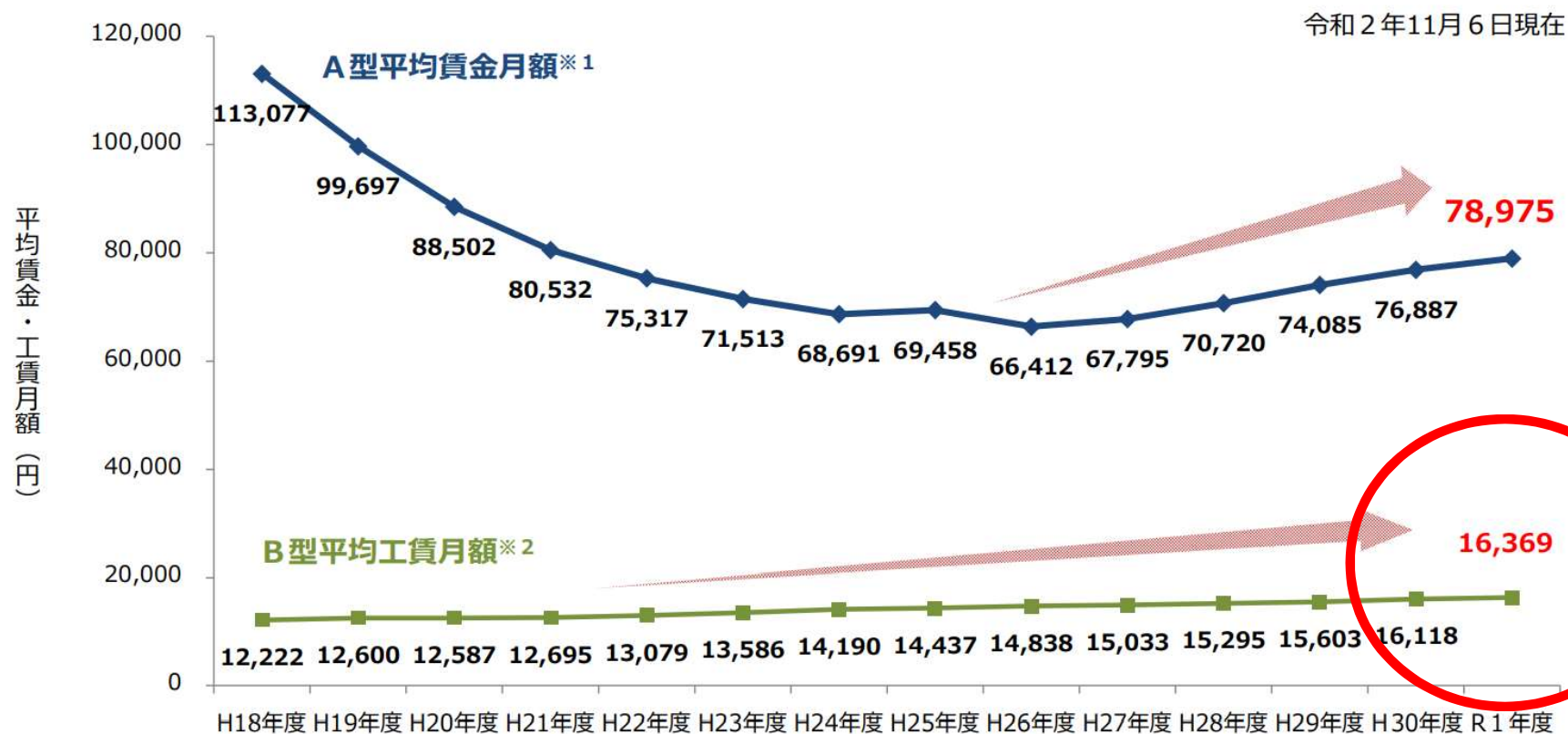
「生きがい」や「役割」も含んでいる。



写真はイメージです

就労継続支援事業所における平均賃金・工賃月額推移

- 就労継続支援 A 型事業所の平均賃金月額は、平成26年度までは減少傾向であったが、**近年は増加傾向**。
- 就労継続支援 B 型事業所の平均工賃月額は、**平成20年度以降、毎年増加**（H18→R1 33.9%増）。



※1 平成23年度までは、就労継続支援A型事業所、福祉工場における平均賃金

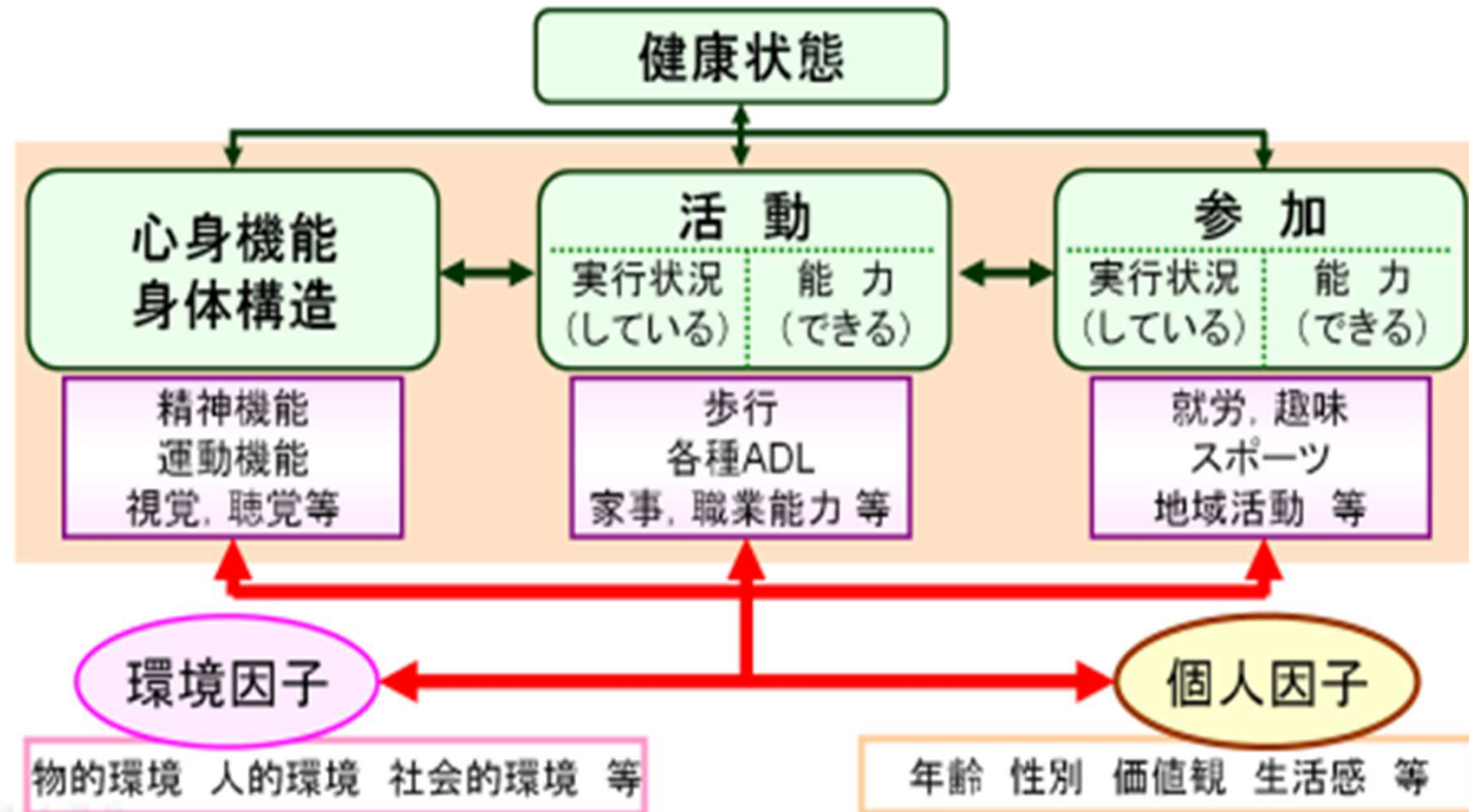
※2 平成23年度までは、就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設における平均工賃

【出典】工賃・賃金実績報告（厚生労働省障害福祉課調べ）

障害者と就労支援



ICF (国際生活機能分類)





合理的配慮

絵を見て考えてみよう

例えば

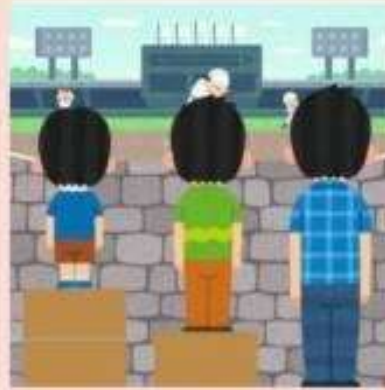
合理的配慮を考える 発達障害の子どもたちの障壁を視覚化したら



配慮 が何もない状態…



平等 ではあるけど左の子はまだ見えない…



公正 さが担保されて全員が試合を観られる！



環境 を変えれば、ハンディキャップは生じない！

一番左の背の低いお子さんが、試合を観るために木箱を2つ使うことを「ズルい」「木箱を使えば身長が伸びなくなる」と言う人はきつくないでしょう。

同じように、ディスレクシアの子のタブレット使用に対する「●●さんだけ特別扱いはできない」「タブレットを使用すれば書字の苦手さが改善できない」という主張には正当性がないことは明らかです。

周囲の人の「発達障害リテラシー」が子どもたちの学びの妨げにならないよう、社会全体での理解を促進していきましょう。



© TEENS

こちらのイラストはRISC (interactioninstitute.org / madewithangus.com) のイラストを参考で作成しています。

合理的配慮の例

発達障害の子どもの場合

日常生活のなかの見えないハンディ

* ディスレクシア：文字の読み書きに限定した疾患

合理的配慮

合理的配慮は、障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応が必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること（障害者に対しては、対応に努めること）が求められるものです。重すぎる負担があるときでも、障害のある人に、なぜ負担が重すぎるのが理由を説明し、別のやり方を提案することも含め、話し合い、理解を得るよう努めることが大切です。

たとえば、従業員が少ないお店で混雑しているときに、「新しいを押して店内を案内してほしい」と伝えられた場合に、話し合ったうえで、負担が重すぎない範囲で、別の方法を提案などが考えられます。その内容は、障害特性やそれぞれの場面・状況に応じて異なります。

〈合理的配慮の具体例〉



障害のある人の障害特性に応じて、座席を決める。



障害のある人から、「自分で書き込むのが難しいので代わりに書いてほしい」と伝えられたとき、代わりに書くことに同意がない書類の場合は、その人の意思を十分に確認しながら代わりに書く。

意思を伝え合うために紙や写真のカードやタブレット端末などを使う。



段差がある場合に、スロープなどを使って補助する。



合理的配慮の事例が掲載されたホームページがあります。

合理的配慮サーチ 検索

合理的配慮ページでは、障害の種類や状況の範囲から事例を検索することができます。状況に合わせて、検索から興味のある事例を選択し、内容を閲覧することができます。

障害の種類と障害特性

障害とは、精神や身体の器官が何らかの原因で、その機能を果たさないこと、またはその状態をいう。

障害者とは、その障害により長期にわたって、日常生活や社会生活に相当な制限を受けるものをいう。

| | 障害特性と農作業の関係 |
|-------|---|
| 身体障害者 | 判断能力が高く、作業管理で能力を発揮。障害によっては圃場での作業が難しい。 |
| 知的障害者 | 体力を要する作業を行うことができる。単純作業なら集中できる。判断能力が低いいため識別等の判断が難しい場合がある。 |
| 精神障害者 | 収穫等の判断能力は比較的高いが、幻覚（幻視・幻聴）等により集中力が維持できないことがある。 |
| 発達障害者 | こだわりがあり視覚優位。点検や軽量・細かい作業が得意。対人関係やコミュニケーションが苦手。2つ以上の動作の移行は多重処理ができない。協調運動が苦手、注意欠陥・多動の人もある。 |

* その他難病もある

■精神疾患を引き起こす原因の分類■

◆内因
⇒体質的な素因が原因

◆外因（身体因）
⇒身体的な病気が原因

◆心因
⇒心理的・環境的な素因が原因

脳器質性

⇒脳腫瘍や脳血管障害など、
脳に直接、器質的な病変を
引き起こすもの

症状性

⇒脳以外の身体的な病気が
脳機能に影響を与えることで
引き起こすもの

中毒性

⇒アルコールや違法薬物などの
中毒性物質が脳機能に影響を
与えることで引き起こすもの

Hgb (Hb)

Hct

MCV

MCH

MCHC

RBC

Plt

TPP

Pct

MPV

PdW

Blast

ProMyel

Myelo

Meta

Band

Seg

(Seg+Band)

Lympho

Mono

Eosino

Basa

Atyp-Ly

PT

PT2

INR

APTT

Fibrinogen

0.75

40.0

84.2

27.2

33.8

13.9

153

1.3

7.8

7.8

0.0

0.0

0.0

0.0

0.0

37

72

23

46

2

12

1

14.0

14.0

1.0

1.0

1.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

10.0

精神障害者の障害は
目に見えません



きっかけとサポートとうつ病の関係



例：うつ病

自己肯定感を高める必要がある

発達障害

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に言葉の発達の遅れはない
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心の偏り
- 不器用（言語発達に比べて）

自閉症

- 言葉の発達の遅れ
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的障害

学習障害(LD)

- 基本的に全般的な知的発達に遅れはない
- 「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」といった能力のうち、特定のものが極端に苦手
- 自閉症やADHDと併発することも多い

注意欠如・多動性障害 (ADHD)

- 注意力が低い（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）



サポート

自閉症スペクトラム ASD

適切なサポート

- 優先順位を明確にする
- 作業の期限を明確にする
- 作業範囲を明確にする

追加サポート

- 指示系統を単純にする
- 作業の理由や根拠を伝える
- 仕事の全体イメージを伝える

注意欠陥多動症 ADHD

- 協力者(≒秘書)を配置する
- スケジュールと一緒に作成する
- 毎日スケジュールを確認する

- 1日のタスク数を減らす
- 期限が近づいたときに催促する
- 作業直後に成果物を確認する



障害がある人との関わり方



- ・日頃の様子をよく観察し、本人にとって何が得意で、何が苦手なのかを一緒に確認することが大切 →受容・共感
- ・確認したうえで、本人がどのような環境であれば力を発揮できるのか、一緒に考えることが重要 →寄り添い
- ・本人の「強み」の発掘をしながら、「弱み」を「強み」に変える仕組みづくりが必要 →リフレーミング例：ケチな人→こまめに節約ができる人
- ・ハード面やソフト面の環境整備をすると共に、思いや意欲を引き出す →権利擁護・意思決定支援



働きやすい環境

障害者が「働きやすい」職場とは

1. 障害者が働きやすい職場づくり

障害者がミスなく働ける職場はすべての人が働きやすい職場

2. 無理せず働ける職場づくり

体調面や精神面を管理することで生きがいや可能性を実感できる






3. 個々の能力にあわせて仕事づくり

一人ひとりの能力をいかす仕事を見つけるための発想の転換

障害者にとって「働きやすい」職場は、一つの型に合わせた能力を求めるのではなく、人それぞれに合わせた仕事のやり方を工夫し、変化させていくことができる。



障害者と関わる① 可視化の例：育苗トレーに床土（とこつち）を入れる作業・作業ガイド例

| | 作業の様子 | 作業のやり方 |
|---|---|--|
| 1 |  | 育苗トレーをブルーシートの上に置く。 体への負担を軽くするために、育苗トレーを置く場所は、床土をすくうときに、移動したり、無理な体勢をとらなくてすむ場所にする。 |
| 2 |  | 床土を両手で山盛りすくって、育苗トレーの置きやすい場所に入れる。 これを合計3回行う。 育苗トレーに入れる回数は、作業者の手の大きさを考慮して、農家が調整する。 |
| 3 |  | 育苗トレーに入れた床土をすべての穴に入れるように、力を入れず、なでるように手のひらで広げる。 |
| 4 |  | 育苗トレーに入れた床土をすべての穴に入れるように、力を入れず、なでるように手のひらで広げる。 |
| 5 |  | 穴がすべて埋まったら、床土の表面の高さが、育苗トレーの高さと同じくらいになるように、力を入れずに、全体的にまんべんなく板でなでて、余分な土をトレーの外に出す。 |

置く場所を明確にする
楽な姿勢で作業することができるポイントも記載する

量・数を明確にする
判断が必要な調整は農家が行う

発芽率に影響が及ぶ恐れがあるので、力を入れないことを明確にする
方法を明確にする

考えられる状態について、あらかじめ、記載しておく

程度を明確にする
用いる道具を明確にする

障害者と関わる② 作業場所の整え方

作業をする場所は、障害のある作業者に合わせて、身体的に出来るだけ楽に出来るように、作業に取り組みやすい環境を整えるための工夫が必要。

作業に取り組みやすい環境とは

- 「複雑さやあいまいさを避けて、個々の作業を単純化して行えるようにする」こと。
- 一度に複数のことを処理する作業や、判断を伴う作業が難しい人もいるため、一つの事に集中できる環境を提供することが大切。

そのためにできる工夫として

- ①作業場所は整理整頓をして通路幅を広くし、見通しよくする
- ②段差がある場合には段差のある部分を明確にする、またはスロープにして段差を解消する
- ③作業動線を単純化して、進路に迷わず目的の場所へ効率的に移動できるようにする



道具の置き場所を明確化



ごみの分別を分かりやすく表示



目盛に印をつけるなどして
誰にでも分かりやすくする

現場の心構え

職場の雰囲気づくり

障がいのある方と一緒に働くときは、一緒に働く人達の障がいに対する理解が必要不可欠である。施設外就労であれば、職員の方のサポートがあるため比較的大きな問題になりにくいと考えられるが、**障がい特性を理解し、情報を共有しておくことは重要**。また、障害に関することは個人情報でもあることにも留意する。


安全に仕事をするために

障がいのある方が安全で健康に働くことが出来る環境を整えるということは、「**誰にとっても安全で気持ちよく働ける環境を作る**」ことに繋がるため、意識して取り組むようにする。

例えば、夏場の炎天下での作業は、健常者でも辛いですが、それが当たり前だと思わず、屋内や日陰でできる作業に変える方法も考えることが必要である。やり方を見直せば作業効率が上がり、売上の向上にもつながる場合もあるかもしれない。

また、就業時間については、施設外就労においても一人ひとりの障害や体調により個々の就業時間にばらつきがあったり、福祉施設からの送迎などの関係で、一般的な農業の就業時間の実態にそぐわないこともある。そのため、これらの問題については、**受け入れる側が意識を変えていくことで解決することができる**。

福祉現場では、一つの仕事を一人がすべてすることは稀で、**一人一人が出来ることを組み合わせ、一つの仕事が完了するようにコーディネートしている**。



就労のコーディネート

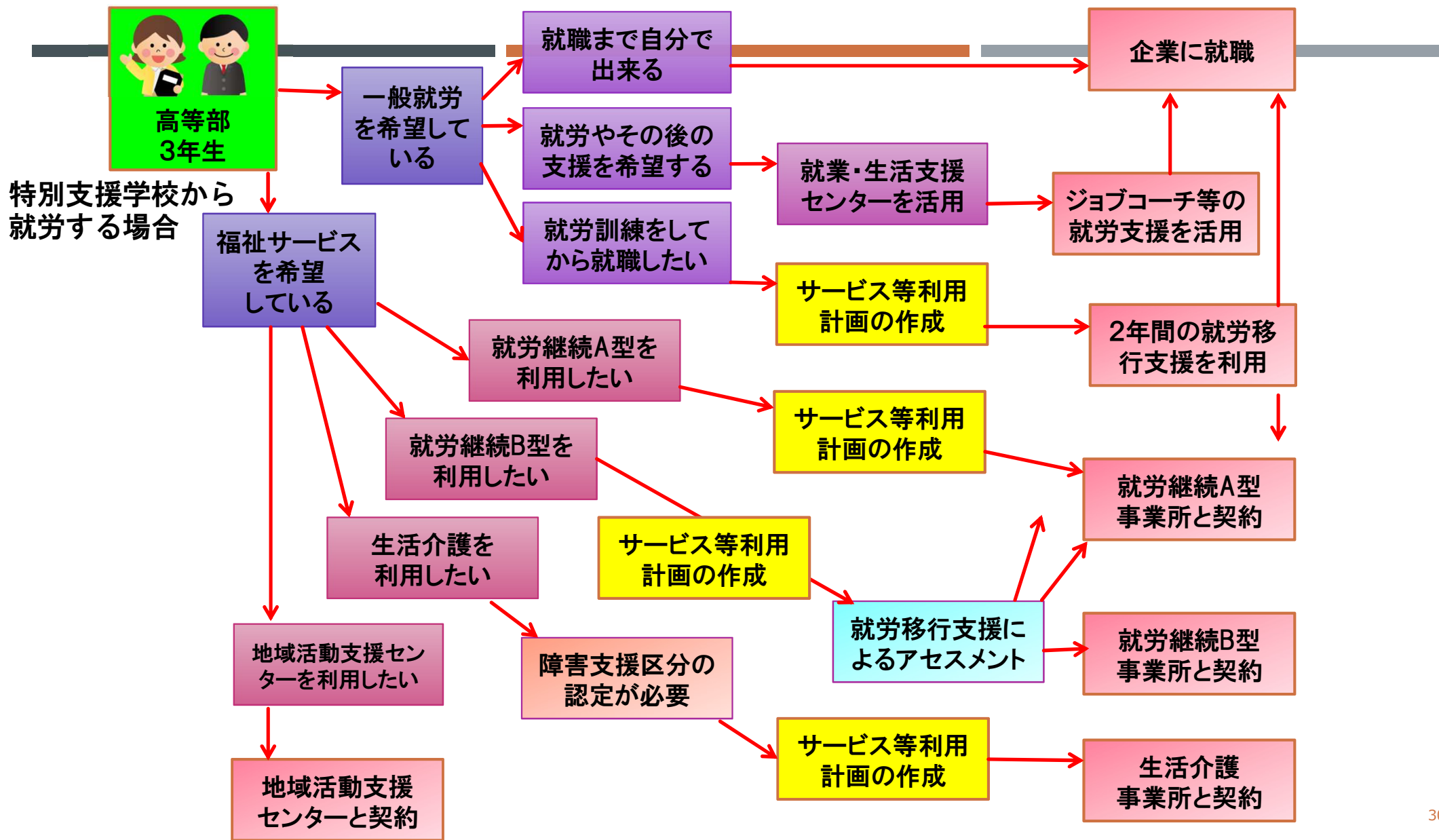
就労アセスメント

就労アセスメントにより、自分自身の「働く力」を客観的に把握し、「働く力」の向上に向けた支援を継続させていきます。

4つのアセスメント領域

- ① 基本的なルール
- ② 社会生活
- ③ 作業態度
- ④ 作業遂行性





マッチングの大切さ

多様な現場を尊重すること。依頼主である農業者の意見を尊重した上で、障害者の存在を地域に周知していくことが大切。

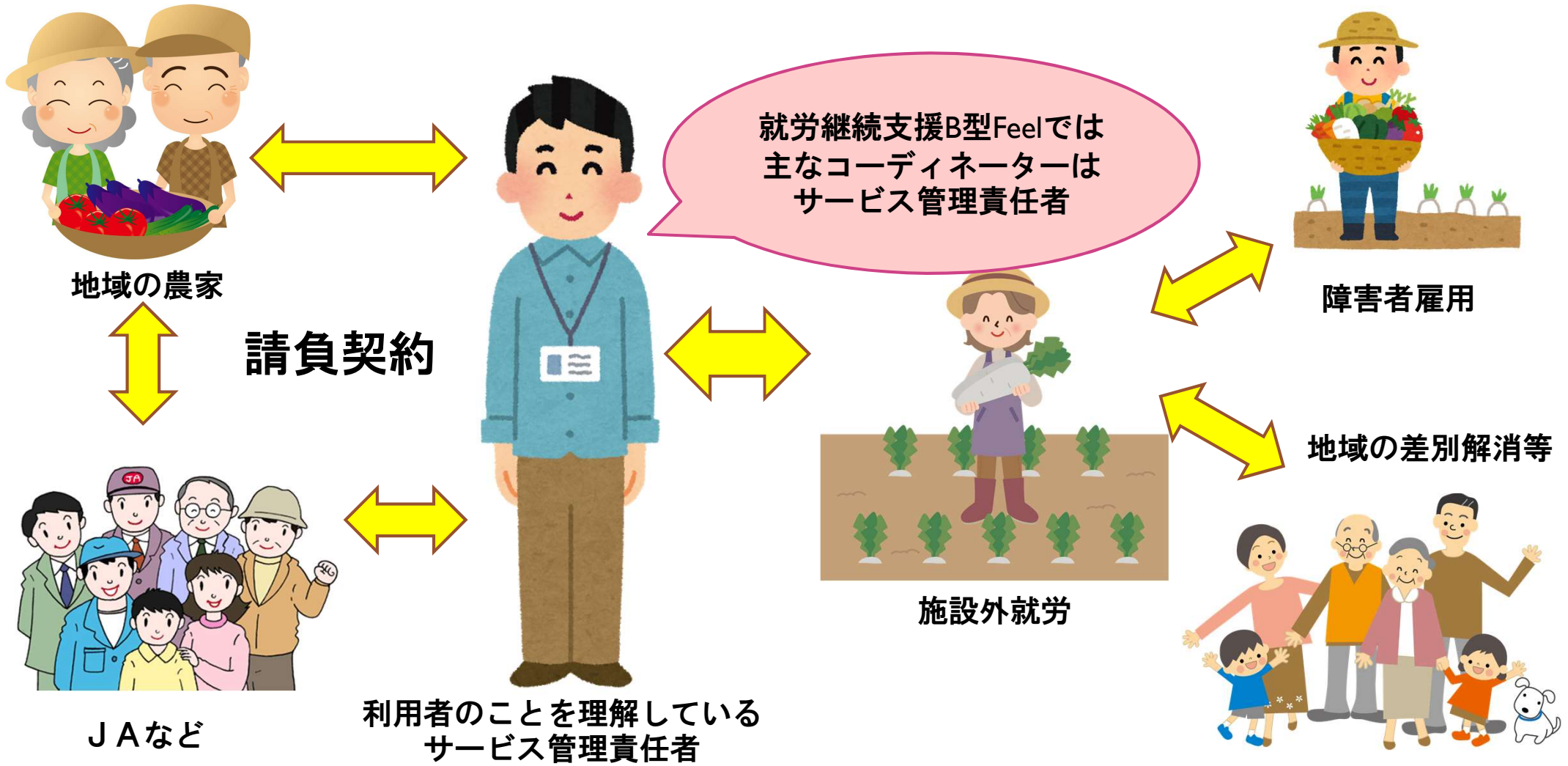
障害者就労施設の利用者が、不慣れな農作業に戸惑うことがある。農作業の支援を行いながら、自信と実力を持ってもらい、農業への定着を目指す。

農家と障害者、どちらも **w i n - w i n** となるには

お互いを**尊重**することが大切



就労継続支援B型Feelの場合



J A 愛知北を通じた白菜農家の収穫作業の請負

重いものを運ぶのは
へっちゃら！



高齢農家には
重労働なので
助かる！



ねぎの作業（チーム施設外）：地域の農家と連携



①

丁寧な仕事が
得意



②

体力は任せて！



③

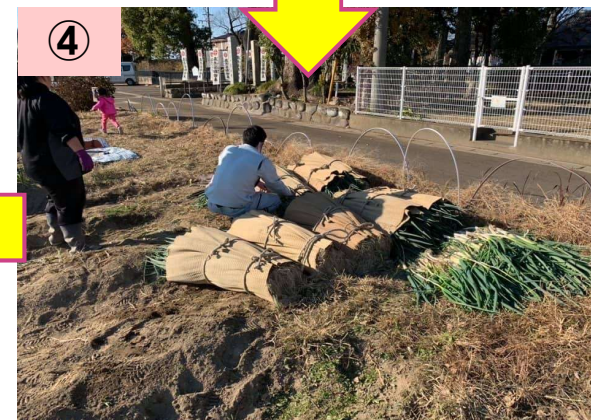
指先が
器用なの



⑥



⑤



④

農家さんと一緒に記念撮影



笑顔 コミュニケーション 農業の知識を得る

農家の「こうしてほしい」という**思い**を理解し、分かりやすく作業内容を伝え、作業の様子を見守る。

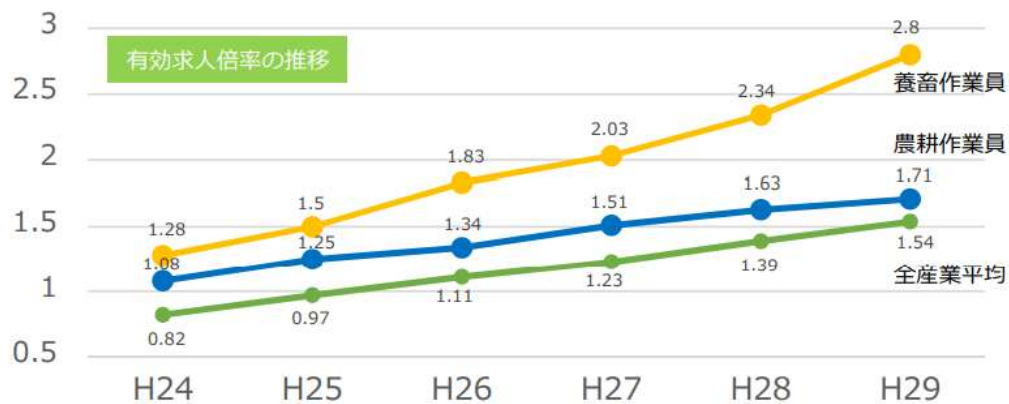
作業中は、常に**気配り**・**目配り**を行い、手本を見せ、個々の作業のサポートする。

障害者が、それぞれのペースで作業でき、スキルアップを行える環境が必要。



農福連携の試み

農業現場で高まる雇用労働力ニーズ



実際に農福連携に取り組んだ効果を実感

農業経営体への効果

農福連携に取り組む農業経営体の、

- **76%**が「障害者を受け入れて**貴重な人材**となった」と認識 (n=109)
- **57%**が「労働力確保で**営業等の時間が増加**」と認識
- **78%**が5年前と比較して**年間売上が増加** (n=120)

障害者にとっての影響

農福連携に取り組む障害者就労施設の、

- **79%**が「**利用者が**体力がついて**長い時間働けるようになった**」、**62%**が「**利用者の表情が明るくなった**」と回答 (n=573,606)
- **74%**が過去5年間の**賃金・工賃が増加** (n=606)

※ 農林水産省調査（平成31年3月）による

農業経営体が障害者を雇用 京丸園(株) (静岡県)

- 毎年1名以上の障害者を新規雇用。従業員100名中、障害者は25名 (H31.4)。
- 障害者視点で農作業の体制を整備。作業効率化が進み、経営規模と生産量が拡大。
- 障害者雇用数に比例し売上増加 (6.2倍に拡大 (H9→H30))。



器具を工夫した定植作業



個人の目標を定め作業を実施

障害者就労施設が農業参入 (株)九神ファームめむろ (北海道)

- 地域における障害者活躍の場として設立。障害者20名 (H31.1) が、野菜生産や一次加工を実施。
- 利用者から支援スタッフへキャリアアップ実現。
- 平均賃金は北海道平均の約1.6倍と高水準 (H29)。



野菜の加工処理



地域食材をレストランで提供

J Aが核となるマッチング J A松本ハイランド (長野県)

- 障害者就労施設による農作業請負のマッチングを、J Aが核となって実施。
- 農家33戸が受け入れ、障害者就労施設8事業所の延べ1,041人が332回の農作業に従事 (H30年度)。



作業内容の説明

企業が障害者雇用と農業参入 ハートランド(株) (大阪府)

- コクヨ(株)が子会社で障害者7名を雇用し、葉菜類を栽培。
- 特性を的確に見極めることで播種等で作業効率を向上。
- 障害者就労施設からも年間延べ約6千人の障害者を受け入れ。



サラダほうれん草を栽培



ご清聴ありがとうございました